



学習

場面の様子に着目して読み、 しようかいしよう

「二つの花」を、場面のうつりかわりや、登場人物の行動や会話などに気をつけて読みましょう。そして、心にこった言葉や作品のとくちょう、自分の感想などから選んで、読んだことがない人にも分かるようにしようかいしましょう。

場面や登場人物の気持ちに気をつけて読もう

▼「二つの花」の設定をたしかめましょう。

- 登場人物はだれで、どんな人ですか。
- いつの時代の物語ですか。
- きせつはいつですか。
- どんな場所がえがかれていますか。

▼登場人物の行動や会話に着目し、それぞれの場面の登場人物の気持ちや世の中の様子、出来事をたしかめましょう。

登場人物の行動や会話	ゆみ子 「一つだけちようだい。」 お母さん 「じゃあね、一つだけよ。」
登場人物の 気持ち	
世の中の様子や 出来事	

▼「一つだけ」という言葉は、最後の場面には出てきません。次のことに気をつけて、戦争中と戦争後の場面をくらべ、「一つだけ」という言葉が出てこないわけを考えてみま

しよう。

- ・コスモスの花
- ・食べ物
- ・登場人物の行動

作品をしようかいしよう

1 次の手順で、作品をしようかいしましょう。

(1) しようかいする相手を決める。

(2) 取り上げたい事がらを、次の中からいくつか選ぶ。

- ・題名と作者
- ・登場人物
- ・あらすじ
- ・出来事
- ・心にのこった言葉や文
- ・感想や考え
- ・作品のとくちよう——組み立てや表現げんなど

(3) 選んだ事がらごとに、つたえたいことをカードに書き出す。

(4) しょうかいの中心と、話の順番を考える。

(5) 話し始めと結び、相手にふさわしい話し方を考える。

ふだん使っている言葉でも、どんなとき、どんな思いで言うかで、本当に悲しい言葉になることがあります。

わたしは、そのことを「一つの花」で知りました。

この作品は、――。





- 場面の様子や出来事と、登場人物の気持ちをどのように結びつけて考えましたか。
- 「二つの花」の何を取り上げ、どのようにしようかいしましたか。

自分の考えをもとう

なぜ、「二つの花」という題名がつけられたのだと思いますか。考えてみましょう。